

2025 年度

全学部統一入学試験 I 期問題（2 月 2 日）

国語

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
2. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
3. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

① 受験番号欄

受験番号を英字及び数字で記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。

② 氏名欄

楷書でていねいに記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。

4. 解答はすべて解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の例のように解答番号10の解答欄の③をマークしなさい。

（例）

解答番号	解 答 欄
1 0	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

I 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

権力とはある特定の主体が行使するものであるという考え方が、現代でも非常に根強い。このことのエン
源をたどって行けば、ヨーロッパ近代における（i）の成立を避けて通ることはできないであろう。す
なわち、すべての権力の源泉として主権という特権的なものを想定する考え方である。色々なレヴェルで決
定が行われるが、それらの全てをくつがえしても最終的な決定を行いうるのが主権であるとされる。いわゆ
る絶対主義とは、それ以前に存在したさまざまな権力主体が倒され、ある一人の主体（国王）に権力が集中
したと見なされた時に成立する。こうした中で、主権論はジャン・ボダンらによって確立された。ボダン自
身はそれまでの多元的な秩序の重要性をも見失っていない複眼的な思想家であったにせよ、彼が定式化した
主権の概念は、独り歩きを始めることになったのである。領域内のすべての事柄について、最終的な決定権
力をにぎる主権者としての王の権威は、それが神に由来するものであるという王権神授説によって支えられ
た。こうした発想は長く続き、カール・シュミットが『政治神学』などで強調しているように、ロマン主義
時代に至っても、主権の絶対性を強調する論者は、神と主権者の類似性に言及しているほどである。

主権論が神学に触発されながら展開してきたことを考えると、特別の権力主体を想定する議論は、究極的
には、失われた神の概念を継承するものと言えるかもしれない。万物についての命令者である神の観念にも
とづいて、神の代理人としての教皇を中心とする教会秩序がまず成立したが、それを模⁽¹⁾ホウする形で成立し
たのが、世俗における政治秩序であった。（中略）

王権神授説がもはや維持できない程度にまで（ii）が進むと、主権論は今度はある種の契約論と結び
ついて、延命を図ることになった。ホッブズの議論に典型的に見られるように、権力関係が制度化しておら
ず、誰が命令するか決まっていけない状態としての自然状態が、きわめて恐ろしいものとして描かれる。そし

て、本来は平等であった主体が自らの主体性を進んで放棄し、中心Aを固定化することで初めて安心できる状態が生まれるとされるのである。こうして成立する主権とは、文字通り人工の神^(A) (deus ex machina) である。そこでは権力とは王の命令であり、それ以外の何物でもありえない。

良く知られているように、ミシェル・フーコーは、フランス革命以前に広く行われていた公開処刑に言及することで、王政的な権力のあり方を裏から描こうとした。重罪犯に広場^(ウ)でゴウ問を加えつつ処刑するようなり方は、その後の「啓蒙された」人々の目からは、サディズムのあらわれか野蛮な風習として一シユウ^(エ)されがちであるが、フーコーによれば、公開処刑は、その当時の権力のあり方を反映するものであった。王という特定の身体が発する言葉がただちに法であるとすれば、法に背いた犯罪者は、王の身体に傷をつけたことになる。(iii)、損なわれた法の権威を回復するには、犯罪者の身体を傷つけ、それを破壊すること、反射的に王の身体を回復するしかなかった、というのである。そうした処刑が公開で行われたことにも理由がある。王がパレードなど^(B)で自らを誇示し、人々のまなざしを集めることによって権力を行使する存在であった以上、王の陰画^{ネガ}としての犯罪者もまた、衆人環視のもとで破壊されなければならなかった、というのである。

このような権力のあり方に関して、フーコー自身も示唆しているが、さしあたり二つのことに留意しておきたい。第一に、(iv)を集める権力は、後述する規律権力と比べると、一般の人々に対してあまり直接的にはたらきかけるものではなかった。王の方を見るそぶりさえしていれば、あとは案外勝手なことができた。歴史家からは色々と異論もあるが、フーコーの見方では、王権というものは見かけの派手さとは裏腹に、さほど苛烈なものではなかった。人々の生活をすみずみまで規制するだけの能力もなく、とりあえず大きな枠組をつくっただけ、ということである。第二に、王と重罪犯が(v)の関係にあるということは、両者は同形ということでもある。重罪犯は法に敢えて挑戦した点で、潜在的に革命的な存在と言わなければ

ならない。このことは、とりわけ政治犯について言えるが、それに限られない。彼はあえなく逮捕され、処刑されつつあるが、もしも彼が天下を取っていれば、王としてそこに立っていたかもしれないということに、人々はいやおうなく気づかされる。そうならなかったのは、単に彼が王を倒すことができなかったからにすぎない。王権的な権力は、このように、権力というものが事実上の力関係に依存していることを、誰の目にも見え易くしてしまう傾向を持ち、その意味では本来的に脆弱性を帯びているのである。

(杉田敦『権力』による)

注 *ジャン・ボダン(一五三〇～九六)、フランスの法学者、経済学者。『国家論』で封建勢力に対抗して

近代的な主権論を提唱、中央集権国家を理論づけた。

*カール・シュミット(一八八八～一九八五)、ドイツの政治学者、法学者。第一次世界大戦後のワイマール共和国時代に活躍。『政治神学』で現代国家理論の重要な概念はすべて世俗化された神学概念であるとして、混迷の時代の指針を追求した。

*トマス・ホッブズ(一五八八～一六七九)、イギリスの政治哲学者。『リヴァイアサン』で万人の万人に対する闘争状態から社会契約により国家に絶対的な権力が与えられ、引きかえに国家は平和を保障するとした。

*ミシェル・フーコー(一九二六～八四)、フランスの哲学者。『監獄の誕生』で王権的権力と対比して、いわゆる規律権力を詳細に分析した。

問一 傍線部(ア)～(エ)にあてはまる漢字はどれか。最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

(ア) エン源	1	① 縁	② 延	③ 淵	④ 煙
(イ) 模ホウ	2	① 倣	② 法	③ 報	④ 放
(ウ) ゴウ問	3	① 強	② 豪	③ 業	④ 拷
(エ) 一シユウ	4	① 蹴	② 周	③ 襲	④ 蒐

問二 空欄(i)～(v)にあてはまる言葉として最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

(i)	5	① 主権論	② 国際関係論
(ii)	6	① 国家論	④ 多元論
		② 神格化	② 民主化
		③ 世俗化	④ 専制化
(iii)	7	① だからといって	② しかるに
		③ なんととなれば	④ したがって
(iv)	8	① 人気	② 視線
		③ 財貨	④ 民衆
		② 水と油	② 陽画 ボジ と陰画 ネガ
(v)	9	③ 主体と客体	④ 正と邪

問三 傍線部(A)「人工の神」とあるが、この意味として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

10

- ① 神に由来する統治権
- ② 偶像崇拜に支えられた権威
- ③ 社会契約に基づく統治権
- ④ 独裁的な権力

問四 傍線部(B)の文の意味として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

11

- ① 民衆の政治や社会に対する不満を、公開処刑の熱狂でそらす必要があった。
- ② 絶対王政下では政治犯があふれ、監獄などの施設が不足していたため、路上で処刑せねばならなかった。
- ③ 王政的な権力システムを乗っ取る可能性のある犯罪者は人々の前でみじめに処刑される必要があった。
- ④ 民衆に恐怖を与えて社会秩序を維持するため、犯罪者は公開処刑されねばならなかった。

問五 本文につける題として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

12

- ① 裸の王様
- ② 啓蒙主義の系譜
- ③ 王権的権力
- ④ 民主主義社会の権力

問六 次の各文について、本文中の内容と合致するものには①を、それ以外のものには②を選びなさい。

17	16	15	14	13
----	----	----	----	----

市民社会の権力と比べて絶対王政の権力は強大である。

絶対王政の権力は見かけほど強くはない。

主権概念の核には一貫して、王の権威は神に与えられたという考え方がある。

社会契約の思想は絶対王政の批判者として登場してきた。

絶対王政下では、犯罪と権力の奪取とは深いところでつながっている。

Ⅱ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) 浴室のタイル壁には、なぜ目地（継ぎ目）があるのだろうか。

汚れやすいし、カビも生えやすい。

タイルの大きさと重さは、タイル職人が扱いやすい寸ポウと重さから考えられている。だからタイルを貼り重ねれば当然ながら目地は生じる。

もしタイルの目地がなかったなら、たとえば地震が起きたとき、振動でタイルはぶつかり合い、タイルそのものにヒビが入り、割れるだろう。

異なる物と物を継ぎ、積み、重ね、組み合わせれば、そこにはそれほど細くとも、目地は生まれる。床のフローリングにも天井にも、窓枠にもドア枠にも、棚にも引き出しにも目地はある。むしろいろいろな物を組み合わせつくる建築は、じつは目地をつくることによって成り立っている。

建築の用語には「逃げ」という言葉がある。決して悪い言葉ではない。異なる物と物を重ねたり、組み合わせるとき、ひずみや誤差の調整のために、相互の間に少しのすきまをつくる。これが「逃げ」だ。計算上は不必要だ。でも、もし逃げがなかったら、引き出しは引っぱり出すことはできず、扉は開かないだろう。

タイルの目地と同様に、大きな建物の構造にはかならず「逃げ」を打っている、すきまがある。（A）、地震などの外から力が建物に加わったとき、組み合せた物と物とはぶつかり合い、物そのものが壊れてしまう。

建物と建物とがギッシリと詰っていたら、人間は生活できない。建物と建物との間にある、すきま、道路も人と車の流れを円カッにするための目地である。

自然のなかにも目地はどこにでも存在する。

人間の骨と骨との間、呼吸と呼吸との間、心拍と心拍の間、

草花の茎、春夏秋冬の間、

木の年リン、石の紋様、貝の紋様、砂、雨粒、

地層……。

それらは自然が生成と消滅を繰り返して生まれた目地である。

水平線、地平線も大気と海、大気と大地とがつくり出す目地である。

銀河宇宙も生成と消滅の壮大なドラマが生んだ目地である。

と、こんな大ボラを吹けば、人は笑うだろう。

笑いこそギスギスした人間関係をつくらずに、円カツにする目地なのだ。

建築家は物と物との間に生まれる目地を考え、

人間と人間の間に生ずる目地を想像しなければならない。

目地が「笑う」^⑦、継ぎ目が「笑う」という言葉も、建築の世界ではよく使われる。目地がゆるみ、継ぎ目が広がったという意味だ。

「笑う」^②のは悪いことだろうか。不合理なことだろうか。

地震などで力が急に加わったとき、目地は「笑う」。

長年、風や雨に晒されてきたとき、継ぎ目は「笑う」。

「笑う」のは建物が生きているからだ。

でも、どの目地も「笑って」いたら危ない。

すべての継ぎ目が「笑って」いたら危ない。

建物も人間と同じく、いつも「笑って」いるわけではない。
生きている限り、

風や雨、寒さや暑さ、湿り気や乾き、
カビや汚れ、塵や砂、虫や猫や犬、

そして人間によって、

建物はいつもどこかしら「笑って」いて、
いつもどこかしら緊張⁽³⁾している。

建物と建物とのすきまや道路も目地であり、継ぎ目である。

街が生きている限り、

街の目地も継ぎ目も、

いつもどこかしら「笑って」いて、

いつもどこかしら緊張している。

⁽⁴⁾
街のなかで、もしも子どもたちが遊べないとしたら、街の目地や継ぎ目はいつも緊張しているのだ。緊張しているのは、時間と場所のすきまがないためだ。

いつもどこかしら「笑い」、いつもどこかしら緊張しているのは、建物も街も都市も生きている組織だからである。使い、使われてきた組織だからである。

目地やすきまや継ぎ目によって、結びつき、繋がり、組み合わせられ、活動している組織だからである。

建物も街も都市も、いつも（B）ままでは疲労する。

建物は、少し（C）くらいがいい。

街は、少し（D）くらいがいい。

都市は、少し（E）くらいがいい。

⁽⁵⁾物と物とを結ぶ目地や継ぎ目が「笑う」ためにあるように、建物にも街にも都市にも

小さな場を。「笑う」ために、建築はあなたにほえんでいる。

（松山巖『建築はほえむ』による）

問一 傍線部⑦、⑧、⑨のカタカナ表記に当てはまる漢字を含むものはどれか。最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

⑦ 寸ポウ

⑧ 立ポウ体

18

① 議員立ポウ

② 包装梱ポウ

⑨ 円カッ

19

① カッ火山

② カッ手口

⑩ 年リン

20

① リン間学校

② リン廻転生

③ 拍手カッ采

④ カッ走路

③ リン理学

④ リン人愛

問二 傍線部①、②の本文中での読みとして最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

① 目地

21

① モクジ

② マチ

③ モクチ

④ メジ

② 生成

22

① セイセイ

② ジョウセイ

③ セイジョウ

④ キナリ

問三 傍線部(1)「浴室のタイル壁には、なぜ目地(継ぎ目)があるのだろう」とあるが、その理由として最も

不適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

23

① 自然現象によって建築物に大きな力が加わったとき、タイルが壊れないようにするため

② 計算上はいらなくても、不可抗力によっておこるひずみを調整するため

③ 汚れやカビからタイルを守るため、タイルとタイルの間をあけておいた方がよいから

④ 工事の過程で作業しやすい大きさに材料を加工するため、すきまができるから

問四 傍線部⑤「逃げ」とはどのようなことか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

24

① あらかじめ綿密に計算された建築上必要なスペースで、誤差やひずみは認められないこと

② 建築素材をぎっしり詰めてしまつては利益が少なくなるため、材料をゆるやかに組み合わせること

③ 建築が地震などによって歪んだために生じた素材と素材のすきまのこと

④ 組み合わせた材料どうしがぶつかり合つて壊れてしまわないよう、あらかじめ作られた余白のこと

問五 空欄（ A ）に入る言葉として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

25

- ① そうすることによって
- ② そうしなければ
- ③ そうであっても
- ④ それゆえに

問六 傍線部キ「笑い」はどのようなことを言い表しているか。最も適切なものを、次の①～④のうちから

一つ選びなさい。

26

- ① 建築の「逃げ」にあたる、すきま
- ② 人間の感情表現
- ③ すきまがひろがること
- ④ 建物が危ないこと

問七 傍線部ク「笑う」はどのようなことを言い表しているか。最も適切なものを、次の①～④のうちから

一つ選びなさい。

27

- ① 建築の「逃げ」にあたる、すきま
- ② 人間の感情表現
- ③ すきまがひろがること
- ④ 建物が危ないこと

問八 傍線部(2)「『笑う』のは悪いことだろうか」に関して、筆者の考えに最も近いものを、次の①～④の

うちから一つ選びなさい。

28

- ① 建築物は笑ったり緊張したりしながら、生き生きとしているのが望ましい。
- ② 建物が笑っていることが、危険につながるという心配をする必要は全くない。
- ③ 笑っている継ぎ目が多ければ多いほど、建築物としてすぐれているとは断定できない。
- ④ 私たちの健康のために笑いが必要であるのと同様に、建物も笑うことが長持ちの秘訣である。

問九 傍線部(3)「緊張している」とはどのようなことか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選

びなさい。

29

- ① 建築物のすきまがゆるんだり広がったりしていない状態
- ② 重い建築材を支えるために建築物ががっしりしている様子
- ③ 風雨にさらされて継ぎ目が広がった状態
- ④ 建築家の強い意志を映すかのように建物が堂々としていること

問十 傍線部(4)「街のなかで、もしも子どもたちが遊べないとしたら」とあるが、それはなぜか。筆者の考

えに最も近いものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

30

- ① 街は計算しつくされた必要性の高い建造物や道路で埋め尽くされているから
- ② 子どもたちは塾やおけいこごとに一日中忙しく、勉強以外のことに時間を割く余裕がないから
- ③ 子どもが遊べる公園や児童館が少なく、子どもたちはいつも緊張をしいられているから
- ④ 人口密度の高い大都市にはコンクリートの塊のようなビル群がそびえ、自然を感じさせないから

問十一 空欄（ B ）（ E ）のそれぞれに入る言葉の組み合わせとして、最も適切なものを、次の

①～④のうちから一つ選びなさい。

31

- | | | | | |
|---|---------|-----------|-----------|----------|
| ① | B 詰まった | C 傾いている | D 歪んでいる | E 疲れている |
| ② | B ほころんだ | C 苦笑している | D 笑っている | E 緊張している |
| ③ | B 緊張した | C ほほえんでいる | D ほころんでいる | E 笑っている |
| ④ | B 建てた | C 逃げがある | D すきまがある | E 遊びがある |

問十二 傍線部(5)「建物にも街にも都市にも 小さな場を。『笑う』ために、建築はあなたにはほえんでいる

る」とはどのようなことか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

32

- ① 建築物や都市には、人々が談笑するための小さな公園やスペースの建設を義務づけるべきだ。
- ② 時間や場所の余裕をもった生活ができるよう、建築物や都市にもゆとりをもたせるべきだ。
- ③ 人間が人間らしく生きるには笑いが必要で、そのためには建物や街は巨大なものより手ごろなサイ
ズのものが求められる。
- ④ 小さな空間を訪れた人は笑い、大きな空間を訪れた人は緊張感をもつよう、都市設計を考えるべき
だ。

問十三 筆者は建築家の仕事をどのように考えているか。その要約として最も適切なものを、次の①～④の

うちから一つ選びなさい。

33

- ① 自然現象によって崩壊しない、人間より強い頑丈な物体を造ろうとする仕事
- ② 経済効率上、利益をもたらない建物はすぐに壊されるから、建築だけでなく解体をも視野にいれなければならない仕事
- ③ 遠い未来まで人々によって使われるよう、技術上も素材の上でも斬新さを追求する仕事
- ④ 建築をしない空間を人々の関係を円カツにするものととらえて重要視し、建築物をつくる仕事

Ⅲ 次の文章は久保田淳著「文学における食」からと大野淳一著「羊羹」からのものである。以下の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

人間とは何か、人間と他の動物とはどのように共通し、どの点において異なるのかという問題を追求し続ける文学者にとって、食い物・飲み物のたぐいとそれに対する人間のさまざまな姿は、絶好の凝視の対象となってきた。

(中略)

概して王朝文学では飲食という行為は描写の対象として軽視されている。和歌文学に至っては、食い物・飲み物それ自体が意識的に排除されている。俳諧の世界ではそのような規制はなくなり、芭蕉も蕪村も多くの食い物・飲み物の秀句を残している。

西鶴や近松門左衛門の作品でも、登場人物が飲食する場面には事欠かない。『日本永代蔵』巻二「世界の借屋大将」では、客を呼び、台所で摺鉢すりばちの音を響かせて、客人にあれこれ御馳走を想像させながら、何も出さずに長者になる心得を説く皮肉な話が語られる。(中略)

近代文学に至って、物を食う人間の姿はいよいよ克明に写し取られるようになる。夏目漱石の作品にはとくにその傾向が著しい。たとえば、『虞美人草』の「七」、汽車の中で井上孤堂と小夜子の父娘が長芋と玉子焼の入った駅弁を食い、甲野欽吾と宗近一の二人の青年が食堂車で「ハムエクス」と「コフヒー」・紅茶の朝食を摂る場面などは、それぞれの人物の（A）・性格とともに、その時代の（B）入り混じった風俗を端的に表現している。また、『草枕』での吸い物や羊羹かんについての議論はさながら日本の食文化についての議論の趣を呈している。しかし、漱石自身は「私は濃厚な物がいい。支那料理、西洋料理が結構である。日本料理などは食べたいとは思はぬ」（談話「文士の生活」）と言っている。自身固有の嗜好を持った作

家が作品中でどんな人間に何を食わせ、それを通して何を訴えようとしているのか——その機微を探るのはその作品世界を解き明かすための一つの有力な道筋であろう。

（久保田淳「文学における食」『國文学』より）

「いやー珍客だね。⁽¹⁾ 僕のような狎客^(注1)になると苦沙弥^{くしゃみ}はとかく粗略にしたがつていかん。何でも苦沙弥のうちへは十年に一遍位くるに限る。この菓子はいつもより上等ぢやないか」と藤村^{ふじむら}の羊羹^{ようきん}を無雑作^アに頼張る。

夏目漱石『吾輩は猫である』中の迷亭の台詞である。（C）鈴木藤十郎が、常連である自分より厚く遇^イされていることを詰^ウっているわけだが、藤村の羊羹がその厚遇の象徴である。既に江戸時代、多くの名舗があつてその味を競っていたが、藤村もその一つ。（中略）

羊羹の魅力は贅沢^{ぜいたく}な甘みだけではない。特に練り羊羹は、その深い色と艶^{つや}も豪華さ、上品さを醸しだしている。「羊羹は素顔牛皮は厚化粧」（『柳多留』）という川柳もあるが、そうした羊羹の美しさを印象深く語るのは漱石『草枕』中の余である。

菓子皿のなかを見ると、立派な羊羹が並んでゐる。余は凡ての菓子のうちで尤も羊羹が好だ。別段食ひたくはないが、あの肌合が滑らかに、緻密^{ちみつ}に、しかも半透明に光線を受ける具合は、どう見ても一個の美術品だ。ことに青味を帯びた煉上^{ねり}げ方は、玉と蠟石^{ろうせき}の雑種の様で、甚だ見て心持がいゝ。のみならず青磁の皿に盛られた青い煉羊羹は、青磁のなかから今生れた様につや／＼して、思はず手を出して撫でて見たくなる。

この、いかにも画工らしい余の感想には、次のような東西比較文化論？が続く。

西洋の菓子で、これ程快感を与へるものは一つもない。クリームの色は一寸柔かだが、少し重苦しい。ジェリは、一目宝石の様に見えるが、ぶるぶる顫^{ふる}へて、羊羹程の重味がない。白砂糖と牛乳で五重の塔を作るに至つては、言語道断の沙汰である。

この展開は『草枕』の読者には唐突ではない。非人情の旅を続ける余は、小説の初めから西洋の詩や絵への不満を語っていたし、この日の朝餉^{あさげ}の場面でもその東洋趣味を発揮していたからである。「椀の蓋を取れば早蕨^{さわらび}の中に、紅白に染め抜かれた、海老を沈ませてある。あゝ、好い色だ」と感嘆し、サラダの色を嘆賞したというターナー^(註2)の名を挙げて次のように言う。

この海老と蕨の色をちよつとターナーに見せてやりたい。一体西洋の食物で色のいゝものは一つもない。

谷崎潤一郎も、羊羹の色を称揚するに当たって、まず『草枕』のこの一節に触れている。しかし、漱石は美しい羊羹をおくべき舞台装置として真昼の光と「青磁の皿」しか用意しなかったが、谷崎はまず日本家屋、日本座敷の内部を満たす「風雅」な陰翳^{いんえい}について語り、やがてそうした空間におかれることで深まる食器の趣や食物の味わいについて語り、「日本の料理」は「瞑想^{めいそう}するものである」との断案を下した上で、漸く羊羹が登場する。

かつて漱石先生は「草枕」の中で羊羹の色を讃美してをられたことがあつたが、さう云へばあの色などは矢張瞑想的ではないか。玉のやうに半透明に曇つた肌が、奥の方まで日の光を吸ひ取つて夢見る如きほの明るさを啣^{くは}んでゐる感じ、あの色あひの深さ、複雑さは、西洋の菓子には絶対に見られない。クリームなどはあれに比べると何と云ふ浅はかさ、単純さであらう。だが、その羊羹の色あひも、あれを塗り物の菓子器に入れて、肌の色が辛うじて見分けられる暗がりへ沈めると、ひとしほ瞑想的になる。

〔陰翳礼讃〕

一方二人の中間の年代である永井荷風は、『冷笑』で同時代の日本に不平を抱く新帰朝者たち数人を描いている。西洋に心酔する彼らの羊羹は次のようである。

「……独逸^{ドイツ}の腸詰めと同じに、仏蘭西^{フランス}の蝸牛^{かたつむり}と来たら実に忘れられない味ですよ。」

「マルセイユで名物の魚の羊羹見たやうな、あれア何て云つたけね。」

^{フウヤベエズ}

「魚羹^{フウヤベエズ}ですか。あれア珍です。それからナポリの天麩羅だのロシアのサラダだの、皆な忘れられませんよ……」

（大野淳一「羊羹」『國文学』より）

※注1 狎客……なじみの客

※注2 ターナー……ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー イギリスの画家 1775～1851

問一 空欄（A）（B）に入る言葉として最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

（A）	34	① 性別	② 職業	③ 年齢	④ 境遇
（B）	35	① 新旧	② 美醜	③ 明暗	④ 男女

問二 傍線部(1)「僕」、(2)「自分」は共通する人物を指しているが、だれのことか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 夏目漱石 ② 鈴木藤十郎 ③ 迷亭 ④ 苦沙弥

36

問三 傍線部ア「頼張る」、イ「遇^なされている」、ウ「詰^なっている」について、以下の問いの答えとして、それぞれ最も適切な人物を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

ア だれが羊羹を頼張るのか。	37
イ だれが厚く遇されるのか。	38
ウ だれが詰っているのか。	39

- ① 夏目漱石 ② 鈴木藤十郎 ③ 迷亭 ④ 苦沙弥

問四 空欄（C）に入る表現として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

40

- ① 久々に苦沙弥を訪ねた ② 毎日、苦沙弥を訪ねる
③ 来週、苦沙弥を訪ねる ④ 頻繁に苦沙弥を訪ねる

問五

次の

41

から

46

の文を読んで、本文の内容と合致するものには①、合致しないものには

②、本文の内容からは判断ができないものには③を選びなさい。

王朝文学では食を話題に取り上げるのははしたないとされていた。

小説での食の話題から登場人物の人物像を垣間見ることが出来る。

『草枕』の余にとっては東洋の文化のほうが西洋の文化より優れている。

谷崎潤一郎の考えでは食べ物色彩の豊かさは西洋に軍配が上がる。

『草枕』の余はサラダの色合いより海老と蕨の色の取り合わせの方が美しいと言っている。

荷風の描く新帰朝者たちは『草枕』の余とは立場を異にする。

46

45

44

43

42

41

問六

次のA群は著者群であり、B群は作品群である。A群の著者 47 から 51 の作品として最も適切なものを、B群の①～⑦のうちからそれぞれ一つ選びなさい。

A群 谷崎潤一郎

47

近松門左衛門

48

永井荷風

49

松尾芭蕉

50

清少納言

51

B群

① 好色一代男

② 枕草子

③ 曾根崎心中

④ 源氏物語

⑤ 奥の細道

⑥ 細雪

⑦ 墨東綺譚

このページは空白です

